

研究会開催通知

(昭和 57 年 9 月 15 日～10 月 31 日)

| 研究会 | 日 | 時 | 会場 | 備考 |
|---------------|-----------|-------------|--------|------|
| 分散処理システム | 9月16日(木) | 13:00～17:00 | 機械振興会館 | 前号参照 |
| 計算機アーキテクチャ | 9月17日(金) | 13:30～17:00 | 同上 | 同上 |
| マイクロコンピュータ | 9月17日(金) | 14:00～16:00 | 同上 | 同上 |
| 数値解析 | 9月18日(土) | 13:30～16:30 | 京大 | 同上 |
| コンピュータビジョン | 9月24日(金) | 13:30～17:00 | 武蔵野通研 | 同上 |
| グラフィクスとCAD | 9月28日(火) | 13:30～17:00 | 商業界会館 | 下記参照 |
| データベース・システム | 9月30日(木) | 13:30～17:00 | 機械振興会館 | 前号参照 |
| 計算機システムの制御と評価 | 10月4日(月) | 9:30～17:00 | 同上 | 下記参照 |
| 知識工学と人工知能 | 10月6日(水) | 13:30～17:00 | 同上 | 同上 |
| 日本文入力方式 | 10月13日(水) | 13:30～17:00 | 同上 | 同上 |
| 記号処理 | 10月18日(月) | 12:00～17:00 | 神戸大 | 同上 |
| ソフトウェア基礎論 | 10月18日(月) | 14:00～17:00 | 九大 | 同上 |
| 自然言語処理 | 10月22日(金) | 9:00～17:00 | 同上 | 同上 |
| ソフトウェア工学 | 10月26日(火) | 13:30～17:00 | 商業界会館 | 同上 |
| 設計自動化 | 10月29日(金) | 13:30～17:00 | 機械振興会館 | 同上 |

◆ 第7回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数：4件)

(主査：穂坂 衛，幹事：井越昌紀，木村文彦，松家英雄)

日時 昭和 57 年 9 月 28 日(火) 午後 1 時半～5 時

商業界会館 2 階大会議室

会場 [東京都港区麻布台 2-4-9, 地下鉄：日比谷線神谷町, バス：渋谷～東京タワー線東京タワー, 等々力～東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, 飯倉交差点角。
Tel. 03 (584) 7311]

議題 (1) カラー 3 次元物体の反射・透過モデルに関する基礎的検討

横井茂樹, 伊藤秀幸, 鶴岡信治, 三宅康二 (三重大・工)

[概要] カラー 3 次元物体の反射・透過モデルを検討し, 比較的簡単な方法でリアリティが得られる方法について述べる。

(2) 自由形状設計のための曲面生成法

——不規則な 3 次元曲線モデルの内挿——

千代倉弘明, 木村文彦 (東大・工)

[概要] 非四辺形の面を含んだ不規則な 3 次元曲線モデル上に, なめらかな自由

曲面を生成する方法を示す。

(3) ソリッドモデル形状設計システムにおける形状処理

山口富士夫, 時枝敏也 (九州芸工大)

〔概要〕 筆者らの開発したソリッドモデル形状設計システムについて, その形状処理の概要を述べる。

(4) ACM-SIGGRAPH 82 報告

井越昌紀 (機振協技研)

〔概要〕 表記会議およびアメリカにおけるコンピュータ・グラフィックスの現状について報告する。

◆ 第17回 計算機システムの制御と評価研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 益田隆司, 幹事: 小野欽司, 原田紀夫)

日時 昭和57年10月4日(月) 午前9時半~午後5時

会場 機械振興会館 地下3階2号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議題 特集「計算機システムと待ち行列ネットワーク: 理論と応用」

Tutorial

(1) Queueing Network Models and Their Applications—A Survey

Hisashi Kobayashi (IBM Japan Ltd.)

〔概要〕 In this tutorial presentation we will review a general class of queueing network models for which a simple “product-form” solution exists for the joint queue size distribution. We will then discuss their applications to computer systems and communication networks. Various computational algorithms related to these models will also be discussed.

(2) 応答性能の実現可能性

亀田壽夫 (電通大・計算機科学)

〔概要〕 TSS の簡単なモデルにおいて各使用者に対する平均応答時間の要求値が使用者ごとに与えられたとき, それを実現するスケジューリング方式が存在するための必要十分条件を示す。

(3) ブロッキングの起る待ち行列モデルの数値解析

逆瀬川浩孝 (筑波大・社会工学)

〔概要〕 直列型待ち行列モデルの数値解法を提示し, ブロッキングによって生ずる効率の低下の度合を数値的に調べる。

(4) 混合型待ち行列網の計算アルゴリズム

紀一誠 (日電)

〔概要〕 閉鎖型と開放型の部分連鎖が混在する BCMP 型の待ち行列網をたたみ込み法により計算するアルゴリズムについて述べる。

(5) 待ち行列網における待ち時間について

川島武 (防衛大)

〔概要〕 平衡分布が積形式で表わされる待ち行列網での待ち時間もしくは滞在時間の性質について検討する。

(6) 計算機システムの構成設計支援技法 ISCP/S: Synthesis

北嶋弘行, 大町一彦 (日立・シ研)

〔概要〕 分散型を含む計算機システム構成の最適設計を性能、信頼性の面から支援するための ISCP/S とその応用を述べる。

(7) 計算機システムのための性能評価モデルの検証における構造的バリデーション手法の適用について 村松 洋, 伊達政広, 牧 隆則 (富士通)

〔概要〕 計算機システムのモデル化による評価において、必須の作業であるモデルのバリデーションのための有効な手法を提案する。

(8) 性能予測ツール QM-X とその応用 納富研造, 北浦 隆 (日電)

〔概要〕 BCMP型の待ち行列網モデルを基本とした解析型のコンピュータシステム性能予測ツール QM-X とその応用例を述べる。

◆ 第 27 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 志村正道, 幹事: 辻井潤一)

日 時 昭和 57 年 10 月 6 日 (水) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 2D 図形と自然言語を用いた 3D モデルの生成

伊藤文英, 安部憲広, 辻 三郎 (阪大・基礎工)

〔概要〕 物体をいくつかの方向からみた 2 次元図形と英文による説明を与えて、3 次元モデルを作成するシステムについて考察する。

(2) 知識ベースシステムにおける RULE DEPENDENCIES の利用

新谷虎松 (富士通)

〔概要〕 フレーム理論に基づくルールベースを提案し、ルール制御構造としての RULE DEPENDENCIES について述べる。

(3) 日中機械翻訳に関する一考察 陳 明, 志村正道 (東工大・工)

〔概要〕 係り受け関係に基づく日本語単文の中国語への機械翻訳システムにおいて、とくに助詞、格、属性、時制、多義語を考慮した手法について述べる。

◆ 第 7 回 日本文入力方式研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 高橋秀俊, 幹事: 坂下善彦, 藤崎哲之助, 山田尚勇)

日 時 昭和 57 年 10 月 13 日 (水) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 日本語ワードプロセッサに関する技術動向

佐藤 武 (東芝), 小橋史彦 (横須賀通研)

〔概要〕 電子協で行っている日本語ワードプロセッサについてのアンケート調査および文書ファイルの共通化について報告する。

(2) 日本語文の入力誤りと自動抽出 田中康仁 (日本ユニバック)

〔概要〕 日本語文の入力において発生する誤りを計算機によって自動抽出する方法と、それを実際の文章データに応用した実験結果とについて述べる。

(3) 印刷屋のみた日本語入力 古川 慎 (ギャルド)

〔概要〕 印刷界を多年にわたって煩わしてきた日本語入力問題を解決するのに、情報処理技術がどのように貢献できるかを考察する。

◆ 第 22 回 記号処理研究会

(発表件数：6 件)

(主査：池野信一，幹事：黒川利明，中西正和，後藤滋樹)

- 日 時** 昭和 57 年 10 月 18 日 (月) 12 時～午後 5 時
- 会 場** 神戸大学工学部・システム工学科棟 視聴覚室
〔神戸市灘区六甲台町，阪急神戸線六甲駅下車，徒歩 15 分または阪急六甲駅前バス停より神戸市バス 36 系統鶴甲団地行，「神大本部工学部前」，下車徒歩 3 分，Tel. 078 (881) 1212〕
- 議 題**
- (1) K-Prolog: 並列マシン上での Prolog の実現
田村直之，有尾隆一，松田秀雄，金田悠紀夫，前川禎男 (神戸大・工)
〔概要〕 ブロードキャストメモリ結合形並列計算機システム I での Prolog の実現法について論じる。
 - (2) LISP による翻訳系の作成とその問題点
寺島元章 (電通大・計算機科学)
〔概要〕 翻訳系のような大規模プログラムを作成する場合の LISP の問題点と処理系でのその解決法について述べる。
 - (3) Shape Up: 記号処理向き Prolog の実現とその効果
横田 実，梅村 護 (日電・C&C システム研)
〔概要〕 文字，テキスト，図形といった非数値データを容易に，しかも同一形式で扱うために Prolog をベースにしたプログラミング言語 Shape Up とその処理系を開発したので報告する。
 - (4) By-PRS and an Extention of Subresultant Theory
佐々木建昭 (理研)，古川昭夫 (都立大・理)
〔概要〕 副多項式剰余列 (by-PRS) なる概念を導入し，部分終結式理論を拡張し，by-PRS 計算アルゴリズムを二つ提案する。
 - (5) Lisp マシン ELIS 上の新 Lisp TAO
竹内郁雄，奥乃 博，大里延康 (武蔵野通研)
〔概要〕 Prolog 型計算機構を関数形式として取り入れ，オブジェクト指向型計算機構を S 式内メッセージ授受として取り入れた TAO の概要を報告する。
 - (6) 1982 年 ACM LISP and FP Conference の報告
瀧 和男，近山 隆，安川秀樹 (ICOT)
〔概要〕 8 月に米国 CMU で行われた上記学会の報告を行う。

◆ 第 2 回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数：3 件)

(主査：淵 一博，幹事：雨宮真人，二村良彦)

- 日 時** 昭和 57 年 10 月 18 日 (月) 午後 2 時～5 時
- 会 場** 九州大学工学部情報工学科 4 階 S414 講義室
〔福岡市東区箱崎 6-10-1，バス：博多駅から九大行 (10 番) 終点九大前にて下車 (約 20 分) Tel. 092 (641) 1101〕
- 議 題**
- (1) 階層的関数型の並列計算モデル 宮地利雄，片山卓也 (東工大・工)
〔概要〕 モジュールの階層とその上ではたらく関数群を基礎に，モジュール単位での同期規則を付加した計算モデルを提案し，これを用いた簡単な並行処

理システムの記述例を示す。

(2) Communicating Sequential Processes の検証

萩野達也 (京大・数理解析研)

〔概要〕 CSP で書かれた Parallel プログラムの検証を, Sequential プログラムに変換して行う方法について述べる。

(3) Flow expressions and complexity analysis 林 健志 (九大・教養)

宮野 悟 (九大・理)

〔概要〕 A. C. Shaw の導入したフロー表現の定義する無限的言語の特徴およびその言語の複雑さについて述べる。

◆ 第 33 回 自然言語処理研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 長尾 真, 幹事: 田中穂積, 野村浩郷, 辻井潤一)

日時 昭和 57 年 10 月 22 日 (金) 午前 9 時~午後 5 時

会場 九州大学大型計算機センター 3 階多目的講習室 (所在地は前記参照)

議題 (1) 中国語解析システムについての考察

楊 頤明, 西田豊明, 堂下修司 (京大)

〔概要〕 中国語の計算機による解析における問題点, 文法規則の試作, フレーム処理により統語解析と意味解析を同時に行う方式の実現, およびそれらについての実験結果を報告する。

(2) 語句反復形式による日本語テキストの構造解析

坂本義行 (電総研), 岡本哲也 (電通大)

〔概要〕 日本語テキストの構造を, 形式的に決定する方法について, 文間の反復語句に着目したテキストの構造特性ならびに主題分析について述べる。

(3) 格構造の変換規則と簡単な事象の分類を用いた日本語文解析

平井 誠 (豊橋技科大)

〔概要〕 日本語の構造を格による名詞と述語の結合および理由, 目的等の関係による述語と述語の結合という 2 段階でとらえ, これを解析する方法と具体的な解析システムについて述べる。

(4) 推移確率を利用した同音語の判別 中野 洋 (国立国語研)

〔概要〕 カナ漢字変換等, 日本語処理において, 同音語の判別処理は重要である。本報告では語の推移確率を利用した同音語判別をおこない, その効果と精度について報告する。

(5) Prolog を用いた機械翻訳システムにおける意味処理

市山俊治, 村木一至 (日電)

〔概要〕 現在開発中の機械翻訳システム TRAP で用いている構文解析時の曖昧さ処理, 変換時の訳語選択の手法について述べる。

(6) 機械翻訳システム LUTE の日本語意味解析

島津 明, 内藤昭三, 野村浩郷 (武蔵野通研)

〔概要〕 日英機械翻訳システム LUTE-JE における格構造モデルに基づく意味解析方式について述べる。

(7) 意味理解過程による機械翻訳方式およびその問題点について

横田将生, 田町常夫 (九大)

〔概要〕 中間言語による意味理解過程を経由する機械翻訳の一方式とその問題点について報告する。

(8) 拡張 B-tree による日本語辞書の作成

日高 達 (九大), 稲永紘之 (九州芸工大), 吉田 将 (九大)

〔概要〕 与えられた文字系列の最左に位置するすべての部分語を効率的にとり出すデータ構造 (拡張 B-tree) と, これによる日本語単語辞書の作成。

なお, 研究発表後見学を行います。今回は電総研で12月7日~8日の1.5日間にわたり開催し, 第1日目の夜に懇談会を兼ねたフリーディスカッションを行います。

◆ 第26回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 久保未沙, 花田収悦)

- 日 時 昭和57年10月26日(火) 午後1時半~5時
会 場 商業界会館 2階大会議室 (所在地は前記参照)
議 題
- (1) エンドユーザのための実際的な要求分析手法: C-NAP (Customer-Needs Analysis Procedures) 平 春雄 (富士通)
〔概要〕 システム開発の最も初期のフェーズに適用する C-NAP の背景, 基本的考え方, 標準的な手順とツール, その適用評価。
- (2) ライブラリモジュールを用いたプログラムの半自動的詳細化 藤田米春 (大阪府大・工)
〔概要〕 入出力表現, 格表現, 手順表現の三つを仕様記述法とし階層的にプログラムを生成する手法。
- (3) データ中心型仕様定義を前提としたアプリケーションプログラムの生成方式 河野文男, 鶴飼純一 (日立・シ研)
〔概要〕 システム仕様をワークシートを用いてデータ中心に記述し, これからプログラムの論理構造, ソースコードを生成する方式。
- (4) プログラムの複雑性評価——制御フローの複雑度係数 C^* について—— 平野行芳, 大場 充, 谷津行穂 (日本アイ・ビー・エム)
〔概要〕 プログラムの複雑性評価方法として, 構造的複雑性の評価と意味論的複雑性の両面を考慮した複雑度係数 C^* の提案と, 事例によるその妥当性の検討。

◆ 第14回 設計自動化研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 山田昭彦, 幹事: 上田 勤, 和田 康)

- 日 時 昭和57年10月29日(金) 午後1時半~5時
会 場 機械振興会館 地下3階2号室 (所在地は前記参照)
議 題
- (1) テンポラル・ロジックと Prolog を用いた論理設計の検証 藤田昌宏, 田中英彦, 元岡 達 (東大・工)
〔概要〕 機能レベル, ゲートレベルの設計に対して, テンポラル・ロジックによる使用記述と Prolog を用いたその検証について検討を行ったので報告する。
- (2) スイッチレベル論理シミュレータのための階層化ネットワーク記述言語

〔概要〕 Bryant によって提案された MOS 論理回路に対するスイッチレベル論理シミュレータを実用化する第一段階として, 回路データの入力言語を設計試作した.

(3) 遅延時間解析システム NELTAS 2

佐藤真一, 野村 稔, 高野延雄 (日電)

〔概要〕 論理回路の信号遅延時間について, その算出および解析を行うシステム“NELTAS 2”について述べる.

(4) 階層化設計指向データベースの概要と階層展開処理

柿沼守男, 辻 裕生, 村井真一 (三菱電機)

〔概要〕 商用 DBM を使用した階層化設計指向 LSI データベースの概要と, 素子リダクションを含む階層展開処理方式について報告する.

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第 39 回研究会を 12 月 16 日 (木), 17 日 (金) の両日, 大阪大学において, 電子通信学会電子計算機研究会と共催で例年通り開催します. 講演希望の方は, 10 月 5 日までに事務局研究会係までお申込下さい.

* なお, 締切日以降のお申込の場合は, 会告に掲載はできませんが, 10 月末日まで受け付けます.

情報処理学会第 25 回全国大会（昭和 57 年後期）参加について

期 日 昭和 57 年 10 月 19 日（火）～21 日（木）
会 場 九州大学工学部・理学部（福岡市東区箱崎）

一般参加の方へ

1. 総 受 付 九州大学工学部本館正面玄関内
2. 参 加 費 会 員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます）
非会員 2,000 円
3. 論 文 集 代 定 価 6,000 円（予約価 5,000 円）
（当日、予約者以外にお頒げできるのは、残部のある場合に限りです）
4. 論文集予約 予約（9 月 24 日締切）を原則としますので、7 月号綴込みの申込書をご利用ください。

◎参加される方は、総受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章を胸につけていないと会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、おそくとも自分の前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて、15 分を原則とします（都合により 13 分のセッションもありますのでお含みください）。したがって時間内に充分に講演の主旨を伝えられるように、事前の準備をお願いします。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。
6. 補助教具として、OHP が使えます。OHP に使う原図は説明の文字や線・点はなるべく簡潔に書き、よく判読できるよう準備してください。なお、スライドは使用できません。また、掛図（3 枚以内）は、各自で黒板に止めてください。

交通案内

バス：博多駅（博多口）正面のセンタービル前バス停（5 番のりば）から、⑩番系統・九大前行にて終点下車（約 20～25 分）、徒歩 4 分、⑨、⑪番系統・貝塚行にて箱崎松下車（約 20～25 分）、徒歩 7 分（全国大会プログラム会場案内図参照）

タクシー：福岡空港から九大工学部（箱崎）まで 1,000 円前後

宿泊案内

前号本欄でお知らせしたとおり、(株)日本旅行新橋営業所が会員にホテルの斡旋をしております。申込締切を 9 月末日まで延期しましたので、ご希望の方は至急お申込みください（申込書は前号にあります）。

その他の一般注意

1. 昼食は学内食堂（記念講堂 1 階、工学部本館地下、農学部 6 号館 1 階）が利用できます。レストルーム（工学部 2 号館電気館 4 階 A417 号室、理学部 2 号館 2 階物理第 3 講義室）も準備してあります。
2. 電話の呼び出しはいたしません。万一止むを得ない場合のみ、下記の電話を利用してください（掲示のみいたします） Tel. 092 (651) 7656
3. 駐車場はありませんので、自家用車による参加は厳禁します。

IFIP 83 の Call for Papers について

本誌 5 月号の IFIP のページ (p. 495) で標記についてお知らせしました。その中で述べられている **Instructions for Authors** が必要な方は、返信用封筒 (70 円切手貼付, 宛名明記) 同封のうえ, 学会事務局にお申出ください。早速送付いたします。

第 26 回全国大会 (昭和 58 年前期) の開催について

昭和 58 年春の第 26 回全国大会は下記により開催されます。

つきましては, 次号本欄に一般講演申込み要領をお知らせいたします。論文申込の締切りは 11 月末となる予定ですので, ご留意ください。

記

日 時 昭和 58 年 3 月 15 日 (火), 16 日 (水), 17 日 (木)
会 場 東京工業大学 (目黒区大岡山)

「論理装置と LSI の CAD」講習会開催のお知らせ

本誌 8 月号でお知らせしましたが, 情報処理叢書「論理装置の CAD」をテキストとして CAD に関心を持つメーカーの技術者および学生を対象にした講習会です。今回は論理設計, 検査設計, 実装設計の各論について具体的な解説を行います。

特に LSI についてはテーマを独立させて理解しやすいように工夫いたしました。定員に制限がありますので, 早目にお申込みください (参加申込書は 8 月号にあります)。

記

日 時 昭和 57 年 11 月 11 日 (木) 9:30~16:00
12 日 (金) 9:00~16:00
場 所 機械振興会館 6 階 67 号室
申込締切 昭和 57 年 10 月 22 日 (金)

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム

開催のお知らせ

—設計・診断・研究開発・意思決定のツールとして—

7月号本欄でお知らせしました標記のシンポジウムを行います。詳しいプログラムについては応募論文の審査決定次第掲載いたします。

記

なお、定員に制限がありますので、早目にお申込みください。

| | | |
|------|----------------------|------------|
| 日時 | 昭和57年12月8日(水), 9日(木) | 9:00~17:00 |
| 場所 | 機械振興会館大ホール(地下2階) | |
| 参加費 | 会員 | 10,000円 |
| | 非会員 | 15,000円 |
| | 学生会員 | 5,000円 |
| 申込締切 | 昭和57年11月22日(月) | |

Weed 博士講演会開催のお知らせ

Weed 博士は「診療記録・医学教育・医療の革新」という著書によっても日本でよく知られ、Problem Oriented Medical Record (POMR) の創始者ならびに、それをコンピュータ化した PROMIS システムの開発者として有名です。独自に開発した入力用コンピュータ端末により、バーモント大学周辺の患者の詳細な病歴データベースを作って運用しています。

下記の講演会では、病歴の情報処理に関してこれまでの経験につき講演されますので、多数の方々のご参加をおすすめします。

記

| | | |
|-----|--|---------|
| 日時 | 昭和57年10月1日(金) | 14時~17時 |
| 場所 | 笹川記念会館第一・第二会議室(東京都港区三田 3-12-12) Tel. 03 (454) 5051 国電田町, 地下鉄泉岳寺下車 | |
| 講演者 | Prof. Lawrence L. Weed (バーモント大学) | |
| 演題 | 診療記録の情報処理(日本語通訳付) | |
| 参加費 | 無料 | 定員120名 |
| 資料代 | 1,000円(医療情報学研究会登録者は無料です) | |

受付 No. _____

昭和 57 年 月 日

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム
参加申込書^{注1)}

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員^{注2)} 10,000 円

非会員 15,000 円

学生会員 5,000 円

○送金方法

_____円を 月 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門支店 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行虎ノ門支店 10899

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8

社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

その他 (連絡事項をご記入下さい)

注) 1. 申込書は1枚1人として下さい (この用紙をコピーしたものでも可)。

2. 本学会賛助会員は1口1人として正会員に準じます。

九州支部 第3回 講演会開催のお知らせ

下記により講演会を開催いたしますので、奮ってご参加ください。

記

日 時 昭和57年9月28日(火) 13:30~15:00
場 所 九州大学大型計算機センター3階 多目的講習室
講演者 松浦 隼雄(情報処理学会副会長)
演 題 情報と社会——衛星通信と情報システム

東北支部設立10周年・第100回記念研究講演会・懇親会 開催のお知らせ

日 時 昭和57年9月17日(金) 15:00~17:00
場 所 東北大学電気通信研究所 1号館大会議室
講演者 淵 一博(新世代コンピュータ技術開発機構)
演 題 第5世代コンピュータプロジェクトについて
懇親会 昭和57年9月17日(金) 17:30~
五ツ橋会館(仙台市五ツ橋) 会費4,000円
問合先 東北大学工学部情報工学教室 福島
Tel. 0222(22)1800(内線4301)

57年度会費の納入について

去る6月中旬に、本年度会費未納の方に、郵便振替用紙によって、標記のお願いをいたしました。ご承知の通り、会費は前納制(2月号の本欄でお願いし、多くの方がたは納入済みです)です。会費納入の催促は手数や郵便料がかさみ、大きな負担となっております。事情をお察しのうえ、早急にご納入くださいますよう、よろしく願います。

出版物のご案内

○ 情報処理叢書の新刊発行

(1) オペレーティングシステムの性能解析 (136p. B 5 判)

益田 隆司(筑波大), 亀田 壽夫(電通大) 共著, 会員特価 1,200 円 (郵送代は別途 300 円) (定価 1,500 円)

目次: オペレーティング・システムと性能解析, 待ち行列論による解析, ページング・アルゴリズム, 仮想記憶の制御方式, システム資源管理.

(2) 計算機システム性能解析の実際 (170p. B 5 判)

三上 徹, 紀 一誠(日電), 吉沢 康文(日立) 共著, 会員特価 1,500 円 (郵送代は別途 300 円) (定価 1,900 円)

目次: 性能解析の考え方と技法, 待ち行列網モデルの性能解析への応用, 大規模 TSS の性能解析, 仮想メモリ・オンライン・システムの性能向上, 年次処理システムの性能解析.

○ 新版情報処理ハンドブック (1,250p. B 5 判) 情報処理学会編集, オーム社発行

会員特価 18,000 円 (定価 20,000 円) (但し送料は都内 23 区 650 円, 北海道・山口・九州・沖縄 1,000 円, その他 850 円).